

【もくじ】

香芝市の歴史年表	P 3
香芝市マップ全体図	P 4.5
A コース ～飛鳥・白鳳の道～	P 6.7
B コース ～恵心僧都源信から鋳物師の里～	P 8.9
C コース ～二上山麓の道～	P 10.11
D コース ～どんづる峯への道～	P 12
E コース ～明神山への道～	P 13
二上山博物館	P 14.15

【香芝市プロフィール】

位置
 本市は、奈良県の北西部にあり、金剛生駒紀泉国定公園を挟んで大阪府に接しています。道路網では大阪市から三重県津市を結ぶ国道165号、和歌山県新宮市から大阪府枚方市を結ぶ国道168号、及び大阪府松原市から名古屋方面にリンクする西名阪自動車道香芝インターチェンジがあり、鉄道網ではJR和歌山線、近鉄大阪線及び近鉄南大阪線が市の中心部を縦横に走り、8つの駅を有し、大阪市内へは約20分という至便なところに位置しています。


市章
 香芝の「カシバ」を図案化したもので、円形にまとめたのは和の精神を表し、両横に張り出した翼の形は将来への発展飛躍を表現しています（昭和34年制定）。

人口と世帯数
 人口 78,327人
 男 37,583人
 女 40,744人
 世帯数 29,820世帯
 （平成27年7月末日現在）


カッシー紹介

● **誕生**
 平成13年10月1日に市制10周年を記念して誕生しました。

● **おしごと**
 市のイベント等に現われて盛り上げ役をかっています（ふれあいフェスタ・防犯啓発・岳のぼりなど）。




市の花 すみれ
 誠実という花言葉をもつすみれは、日本古来より野山に咲く身近な花として愛されてきました。「春の野に すみれつみにと 来しわれそ 野をなつかしみ 一夜寝にける」山部赤人



年中行事

1月中旬	とんど(各地域)
	初えびす(北今市・戎神社)
26日	結鎮座祭礼(下田・鹿島神社)
4月上旬	御田植祭(五位堂・十二社神社)
23日	岳のぼり
7月 9日	板仏(狐井・福心寺周辺縁日)
10日	こんぴら祭(下田・金比羅社周辺縁日)
	恵心忌大法要(阿日寺・通称ぼつくり寺)
8月	夏祭り(各地域)
	盆踊り(各地域)
	地藏祭り(各地域)
9月 9日	宵宮祭(今泉・志都美神社縁日)
10月中旬	秋祭り(各地域)
11月第一日曜日	香芝ふれあいフェスタ
	子どもフェスティバル
第三土曜日	香芝市教育の日
12月下旬	冬彩(今池親水公園)



【香芝市の歴史年表】

人と自然によって創りだされた香芝の地。原始時代から現代まで繋がる香芝の歴史を年表にまとめてみました。

時代	おもな香芝のできごと	おもな遺跡・文献	おもな日本のできごと	
原始	二上山の噴火(千数百万年前)			
	旧石器 奈良県最古の人類が香芝に現れ、二上山麓で石器の製作が始まる	鶴峯荘第1地点遺跡	日本列島に人類が住み始める	
	縄文 奈良県内最古級の縄文土器がつけられる 香芝に人が定住する	下田東遺跡 狐井遺跡	土器・弓矢の使用が始まる	
	弥生 石剣や石槍などのサヌカイトを使った石器がつけられる	田尻峠第1～3地点遺跡	全国で本格的な米作りが始まる	
	古墳	中国製のよろいが副葬される 市内最大の前方後円墳がつけられる	別所城山第2号墳 狐井城山古墳(MAP B-5)	前方後円墳などの古墳がつけられる
		二上山地域で凝灰岩を使った石棺製作が始まる (奈良県内で唯一確認できた凝灰岩の石切場遺跡)	穴虫・高山石切場遺跡	
白鳳台で登覧がつけられ、須恵器が焼かれる		平野2・3号窯(MAP A-6)		
古代	飛鳥 平野古墳群がつけられ始める 尼寺に日本最大級の塔心礎をもつ寺院がつけられる 穴虫・逢坂付近に「大坂山の関」がおかれる 平野塚穴山古墳がつけられる	平野古墳群 史跡尼寺廃寺跡(MAP A-7) 『日本書紀』 平野塚穴山古墳(MAP A-5)	仏教文化の象徴として寺院がつけられる	
	奈良 二上山周辺に多くの火葬墓がつけられる 初めて金剛砂に関する記載あり(743年) 葛下郡の人国中連公麻呂が東大寺大仏の造像に関わる(746年) 二上山を詠んだ和歌が『万葉集』に載せられる	威奈大村骨蔵器(国宝)・高山火葬墓 『続日本紀』 『続日本紀』 万葉歌碑(MAP D-1)	平城京に都をうつす(710年)	
	平安 大坂山口神社・志都美神社が記載される 専称寺に市内最古の木造十一面観音菩薩立像がつけられる 宝樹寺の木造阿彌陀三尊像がつけられる 正楽寺に市内最古の石仏がつけられる	『延喜式』神名帳 専称寺(MAP C-5) 宝樹寺(MAP B-1) 正楽寺(MAP A-4)	平安京に都をうつす(794年)	
	鎌倉 念通寺の石造浮彫不動明王立像がつけられる 鹿島神社の氏子の結鎮座行事が始まる 阿日寺の絹本着色阿彌陀聖衆來迎図がつけられる 長谷寺の梵鐘を下田の大工、藤井友頼とその一族が鋳造する	念通寺(MAP A-1) 『鹿島神社結鎮座文書』 阿日寺(MAP B-4)	源頼朝が征夷大將軍となる(1192年) 北条氏が滅び、鎌倉幕府が倒れる(1333年)	
中世	室町 寺の梵鐘などの鋳物づくりが盛んになる 興福寺の荘園として「金剛砂御園」の記載あり(1399年) 二上山北麓に岡氏の城が築かれる 香芝最古の銘文入りの石仏がつけられる	『春日大社文書』 畑城(岡城)(MAP C-4) 志満堂の石仏(MAP C-4)	足利尊氏が室町幕府を開く(1338年)	
	安土桃山 検地帳の写しが瓦口に残る		豊臣秀吉が全国を統一する(1590年)	
近世	江戸 香芝最古の年号入りの道しるべが立てられる 近松門左衛門作『冥途の飛脚』に鎌田の道場(寂照寺)の話あり 五位堂鋳物師、燈籠2基を朝廷に献上する(1794年) 十二社神社の鋳鉄鳥居や燈籠がつけられる(1839年)	閑屋 寂照寺 十二社神社(MAP B-2)	徳川家康が江戸幕府を開く(1603年) 大政奉還(1867年)	
	近代	明治 穴虫出身の安川亀太郎が金剛砂を売り歩き、全国に知られる 金剛砂の採掘が始まる(1886年) 市町村制公布、志都美村・五位堂村・二上村・下田村が成立 王寺～高田間に鉄道が開通し、下田駅(現香芝駅)ができる 金剛砂を原料とする研磨布紙(サンドペーパー)産業がおこる	奈良県となるが、後に堺県に合併される 堺県から大阪府に合併される 大阪府から分かれて奈良県になる(1887年) 大日本帝国憲法が公布される(1889年) 奈良・王寺間に奈良県初の鉄道が開通	
		大正 軍需品用の研磨材として金剛砂が重用され、生産が広がる 日本金剛砂販売組合が設立し、竹田川流域で金剛砂の採掘が進む		第一次世界大戦が始まる(1914年)
現代	昭和 どんづる峯が奈良県の天然記念物に指定される(1951年) 五位堂・志都美・下田・二上村が合併し香芝町が誕生する 平野塚穴山古墳が国指定史跡に指定される(1973年) 香芝町新庁舎(現香芝市庁舎)が完成する(1976年) 金剛砂の採掘が終わる	どんづる峯(MAP D-3) 平野塚穴山古墳(MAP A-5)	太平洋戦争が始まる(1941年) 日本国憲法が公布される(1946年)	
	平成 香芝市の誕生(1991年)			
	尼寺北廃寺が国指定史跡に指定される(2002年)	史跡尼寺廃寺跡(MAP A-7)		

